

八戸市が 9月から

八戸市は9月から、同市十三日町の八戸ニューポードで、インターネットショップ運営について学ぶ「eコマース(電子商取引)人材育成講座」を初めて開講する。八戸学院地域連携研究センターが受託し、市内に事業所を構える情報・通信業のヤフーと共同で展開する。

eコマース人材育成講座 初開講

月までで計6回を予定。ヤフーの認定講師によるネット販売スキルや、八戸大の教授によるブランドマーケティングなど、基礎から店舗開設までの手順を学ぶ。

21日は、松山政義副センター長とヤフーのコーポレートインテリジェンス本部リスクマネジメント部の八代峰樹部長らが市庁を訪れ、小林真市長に講座をPR。松山副センター長は「地方にいながら販路拡大できるというネットの利点を用い、地域の教育機関としてデジタル人材を育成したい」と意気込みを述べた。

八戸圏域連携中枢都市圏を形成する8市町村の18歳以上の事業者と個人が対象で、定員20人。同センターか市のホームページから、入手できる申込書に必要事項を記入し、同センターへファクスで送信する。申し込みは8月31日まで。

問い合わせや申し込みは、八戸学院地域連携研究センターへ電話0178(25)2789、ファクス(25)1968まで。(玉川那津美)



「eコマース人材育成講座」について小林真市長(左)にPRする松山政義副センター長(中央)と八代峰樹部長(右)21日、八戸市